

西播におけるウスバシロチョウについて

唐 土 洋 一

兵庫県におけるウスバシロチョウの報文としては、山本広一氏によって、すでに発表されておりますが、その後の分布調査について、私の少ない経験を通して、西播（兵庫県の西南部）における分布調査の一端を報告させて頂く。なお、この報文を書くにあたって、貴重なデーターを提供していただいた友人諸氏にお礼を申し上げます。

1. 各地の分布と採集記録

西播においては、千種川、揖保川、夢前川、市川の各流域に採集記録があり、その採集例についてのべてみたい。

1-1) 千種川流域

宍粟郡千種町、佐用郡南光町、佐用町、上月町、三日月町に各々採集記録があり、上月町上秋里あたりが当流域における分布の南限とされている。なお、成虫の発生は三日月産のものが最も早く、本年4月29日に1♀が広利雅美君によって記録されている。私も、同君の連絡により本年4月30日に同地を訪れ1♀8♂♂を採集した。

(採集例)

- 宍粟郡千種町河内 2♀♀21♂♂
1967年5月14日 COL、唐土
- 宍粟郡千種町西河内 7♀♀19♂♂
1967年5月18日 COL、岩村
- 宍粟郡千種町千種 2♂♂
1974年5月19日 COL、花岡
- 宍粟郡千種町岩野辺 5♂♂
1971年5月22日 COL、相坂
- 宍粟郡千種町斎木 2♂♂
1971年5月22日 COL、相坂
- 佐用郡南光町船越 2♂♂
1973年5月18日 COL、花岡
- 佐用郡佐用町奥海 2♂♂
1976年5月22日 COL、川崎
- 佐用郡上月町西大島
1968年5月21日 COL、山本
- 佐用郡上月町上秋里 2♂♂1♀
1971年5月9日 COL、木村

- 佐用郡三日月町春哉 1♀3♂♂
1977年5月3日 COL、鎌井
- 佐用郡三日月町湯浅口 2♂♂
1976年5月9日 COL、尾崎
- 佐用郡三日月町鎌倉 1♂
1976年5月9日 COL、尾崎
- 佐用郡三日月町中村 1♂
1976年5月2日 COL、仲村
- 佐用郡三日月町三日月 9♂♂
1975年5月1日 COL、仲村

1-2) 揖保川流域

宍粟郡波賀町、一宮町、山崎町、揖保川新宮町に各々採集記録があり、新宮町二柏野での記録が現在のところ県下の最南限のものと思われる。

(採集例)

- 宍粟郡波賀町戸倉 5♂♂
1967年5月21日 COL、唐土
- 宍粟郡波賀町道谷 9♂♂
1967年5月21日 COL、唐土
- 宍粟郡波賀町音水 1♀7♂♂
1968年5月24日 COL、岩村
- 宍粟郡波賀町赤西 2♂♂
1975年5月18日 COL、広畑
- 宍粟郡一宮町上岸田 1♀7♂♂
1968年5月20日 COL、岩村
- 宍粟郡一宮町横山 1♀10♂♂
1968年5月21日 COL、岩村
- 宍粟郡一宮町西公文 3♀♀30♂♂
1973年5月30日 COL、岩村
- 宍粟郡一宮町福知 6♀♀40♂♂
1975年5月18日 COL、岩村
- 宍粟郡一宮町小原 5♀♀9♂♂
1975年5月27日 COL、岩村
- 宍粟郡一宮町倉床 5♂♂
1975年5月18日 COL、尾崎
- 宍粟郡一宮町深河谷 1♀25♂♂
1974年5月13日 COL、尾崎
- 宍粟郡一宮町千町 3♂♂
1967年5月21日 COL、尾崎

- 宍粟郡山崎町蔦沢 2 ♀♀ 8 ♂♂
1975年5月23日 COL、岩村
- 揖保郡新宮町相坂 1 ♂
1977年4月30日 COL、唐土
- 揖保郡新宮町二柏野 1 ♂
1976年5月15日 COL、尾崎

1-3) 夢前川流域

飾磨郡夢前町のみ採集記録があり、夢前町菅生潤あたりが当流域における分布の南限とされている。

(採集例)

- 飾磨郡夢前町坂根 3 ♀♀ 1 4 ♂♂
1967年5月16日 COL、米村
- 飾磨郡夢前町馬頭 1 ♂
1977年5月8日 COL、唐土
- 飾磨郡夢前町河原谷 4 ♂♂
1977年5月8日 COL、唐土
- 飾磨郡夢前町佐中 1 ♂
1975年5月25日 COL、尾崎
- 飾磨郡夢前町態部 2 ♂♂
1975年5月18日 COL、木村
- 飾磨郡夢前町菅生潤 1 ♂
1968年5月14日 COL、木村

1-4) 市川流域

神崎郡大河内町のみ採集記録があり、大河内町上小田あたりが当流域における分布の南限とされている。

(採集例)

- 神崎郡大河内町上小田 2 ♀♀ 1 ♂
1968年5月26日 COL、尾崎
- 神崎郡大河内町川上 4 ♀♀ 1 6 ♂♂
1975年5月17日 COL、広畑

2. おわりに

西播のウスバシロチョウについて、採集記録を中心にその調査の一端をのべるにとどまった。後日、もっと詳細にまとめてみたいと考えている。最近の人工による自然環境の進捗度は、すさまじいものがあり、この蝶にとっては、これからの受難のまともであろうかと思われる。現に、かって多産をほこったとき雪彦山麓では、ほとんどといていくくらい成虫の姿をみるのが困難となっている。初夏の陽光を浴びて、かろやかに舞い、オドリコソウ、ムラサキケマン、ネギの花上にたわむれる彼女等の姿をこの西播の地から失くさないようにしたいと思っている。

(参考資料)

兵庫生物 VOL、
山本広一 兵庫県下のウスバシロチョウについて (I)
(S18:相生市)

姫路市飾磨区の蝶相

桑 名 誠

1974年8月から1977年4月までに市内飾磨区での採集品と目撃した蝶を中間発表させていただきます

新日本製鉄所をはじめ臨海工業地帯である飾磨区にも非常に多くの蝶が生存しているのに驚きました。

これからも地元の蝶の分布について調査していきたいと思えます。

(アゲハチョウ科……………7種)

アオスジアゲハ・ジャコウアゲハ・モンキアゲハ
クロアゲハ・カラスアゲハ・アゲハ・キアゲハ

(シロチョウ科……………5種)

モンシロチョウ・スジグロシロチョウ(目)・モンキチョウ・キチョウ・ツマグロキチョウ

(ジャノメチョウ科……………6種)

ヒメジャノメ・コジャノメ・ヒナウラナミジャノメ・クロヒカゲ・ヒカゲチョウ・サトキマダラヒカゲ

(セセリチョウ科……………3種)

チャバネセセリ・イチモンジセセリ・キマダラセセリ

(シジミチョウ科……………7種)

ムラサキシジミ・ベニシジミ・ツバメシジミ・ウラナミシジミ・ヤマトシジミ・ルリシジミ・ウラギンシジミ

(タテハチョウ科……………9種)

ウラギンヒョウモン・コムスジ・ルリタテハ・ヒオドシチョウ・キタテハ・ヒメアカタテハ・アカタテハ・コムラサキ・ゴマダラチョウ(目)

以上6科37種 [(目)は目撃したもの]

(姫路市)